

2018年12月3日

報道関係者 各位

ソニー損害保険株式会社

～2018年 全国カーライフ実態調査～

ソニー損害保険株式会社(代表取締役社長:丹羽 淳雄、本社:東京都大田区、以下「ソニー損保」)は、2018年10月19日～10月22日の4日間、自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女に対し、「全国カーライフ実態調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答を得ました。

【運転実態と車の維持費】

車の維持費は増加傾向 平均額は12,400円、昨年比600円増加
ドライバーが負担に感じるもの 二大諸経費は「自動車税」「車検・点検費」
「ガソリン代・燃料代」に負担を感じる割合は昨年比8.5ポイント上昇

【今乗っている車・次に乗りたい車】

今乗っている車 最多は「軽自動車」で34.9%
オプション装備にいくらかけている?
「カーナビ」平均10.6万円、「ドライブレコーダー」平均2.0万円

【自動車事故】

車社会で恐怖を感じること 1位は「飲酒運転による事故」
「あおり運転による事故」は去年11位から3位に急上昇

【先進安全装置とコネクテッドカー】

安全運転機能の搭載率 「自動ブレーキ」20.3%、「ドライブレコーダー」31.7%
「ドライブレコーダー」の搭載率は昨年より16.4ポイント上昇
新たなサービスが期待されるコネクテッドカー できたら便利だと思うこと
TOP3「簡単ナビ設定」「盗難車両追跡」「車両診断」

【自動車に関する知識】

ナンバープレートに使われないひらがな[お・し・へ・ん] 「知らなかった」7割
給油口は左右どちら? 答えは燃料メーターの給油機マーク横の三角に 半数が「知らなかった」
逆走を防ぐ豆知識 高速道路での特別転回 認知率は3割以下に

【カーライフ意識・車好きあるある】

「自分は“車好き”」男性6割半、女性4割半
車好きほど「フロント部分を『顔』」「ハンドルを『ステアリング』」と呼ぶ

【ドライブデートと好感度アップなドライバー】

「ドライブデートで二人の距離がグッと縮まる」10代・20代女性の8割半が同意
こんなドライバーに好感度アップ! 1位は「安全運転を心がけている」
女性は「渋滞にハマってもイライラしない」ドライバーに好感度アップ

【カーライフ×エンタメ】

車選びのアドバイスをしてほしいと思う芸能人 3位は「福山雅治さん」、上位2位は?
一日警察署長になってほしい芸能人
男性芸能人1位「竹内涼真さん」女性芸能人1位「新垣結衣さん」
勝負デートのドライブでBGMにかけたい曲 1位は「HANABI (Mr. Children)」

アンケート総括

【運転実態と車の維持費】

◆車の維持費は増加傾向 平均額は12,400円、昨年比600円増加

◆ドライバーが負担に感じるもの 二大諸経費は「自動車税」「車検・点検費」

「ガソリン代・燃料代」に負担を感じる割合は昨年比8.5ポイント上昇

自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女1,000名(全回答者)に、年間走行距離を聞いたところ、「3,000km超5,000km以下」(29.2%)や「5,000km超7,000km以下」(20.6%)に回答が集まり、年間走行距離の平均は6,361kmとなりました。

男女別に年間走行距離の平均をみると、男性は6,981km、女性は5,741kmとなり、男性の平均走行距離のほうが長くなりました。(図1)

2014年～2018年の年間走行距離の平均を比較すると、4年前(2014年7,204km)から昨年(2017年6,018km)までは年々平均走行距離が短くなっていましたが、今年の調査では昨年と比較して343km長くなりました。(図2)

次に、1ヵ月あたりの車の維持費(※1)を聞いたところ、「5,000円～10,000円未満」(34.0%)や「10,000円～15,000円未満」(23.4%)に回答が集まり、平均額は12,400円(※2)となりました。

主に運転している車のタイプ別に維持費の平均額をみると、最も平均額が低かったのは軽自動車(10,000円)で、次いで低くなったのはコンパクトカー(12,600円)でした。小型の自動車の維持費は、他のタイプと比べて低く抑えられているようです。(図3)

2010年～2018年の維持費の平均額を比較すると、昨年(2017年11,800円)までみられた減少傾向から一転、今年は増加に転じました。(図4)

(※1)：保険料、ガソリン代・燃料代、駐車場代、修理代等のことで、税金、ローン返済、有料道路通行料は除きます。

(※2)：100円未満は四捨五入

続いて、車の諸経費で負担に感じるものを複数回答で聞いたところ、「自動車税」と「車検・点検費」が同率(63.0%)で、次いで、「ガソリン代・燃料代」(58.7%)、「自動車保険料」(52.2%)、「駐車場代」(22.3%)となりました。

居住地別(※3)にみると、「駐車場代」は都市部41.2%、地方18.4%と、都市部のほうが負担を感じている人の割合が高くなりました。(図5)

2010年～2017年の調査結果と比較すると、「ガソリン代・燃料代」は2014年(70.1%)をピークに2016年(46.4%)までは下降傾向でしたが、昨年(2017年50.2%)から上昇に転じ、今年は58.7%と8.5ポイントの上昇となりました。ガソリン価格の高騰が影響していると考えられます。(図6)

(※3)：市・区における人口ランキングの上位都市である、北海道札幌市、東京都23区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、京都府京都市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市を「都市部」とし、それ以外を「地方」とした。

【今乗っている車・次に乗りたい車】

◆今乗っている車 最多は「軽自動車」で34.9%

◆オプション装備にいくらかけている？

「カーナビ」平均10.6万円、「ドライブレコーダー」平均2.0万円

全回答者1,000名に、主に運転している車のボディタイプを聞いたところ、「軽自動車」が最も多く34.9%、次いで、「コンパクトカー」が18.1%、「ミニバン」が15.0%、「セダン」が11.4%、「ステーションワゴン」が9.0%となりました。(図7)

昨年の調査結果と比較すると、「軽自動車」を運転している割合は2017年35.9%→2018年34.9%、

「コンパクトカー」を運転している割合は 2017 年 19.0%→2018 年 18.1%と、どちらも昨年と同水準でした。(図 8, 9)

次に、主に運転している車の燃料(エンジン)タイプを聞いたところ、「ガソリン自動車」が 81.6%、「ハイブリッド自動車(HV)」が 11.9%となりました。(図 10)

オプション装備にはいくらかかけている人が多いのでしょうか。主に運転している車に付けているオプション装備について、付けている方のうち金額を把握している方について平均額(※4)をみると、【カーナビゲーション】は 106,000 円、【ドライブレコーダー】は 20,400 円、【バックモニター(バックカメラ)システム】は 33,400 円、【ETC 車載器】は 15,400 円となりました。(図 11)

(※4) : 100 円未満は四捨五入

続いて、全回答者 1,000 名に、今後車を買替える予定があるか聞いたところ、「半年以内」が 3.4%、「1 年以内」が 6.9%、「2 年以内」が 10.2%、「3 年以内」が 9.8%、「5 年以内」が 13.5%となり、今後 5 年以内での買替えを検討している割合は 43.8%となりました。(図 12)

車を買替える予定がある 916 名に、次に車を買替える時に購入したい車のボディタイプを聞いたところ、「軽自動車」が最も多く 24.8%、次いで、「コンパクトカー」が 14.8%、「ミニバン」が 14.2%、「セダン」が 9.5%、「SUV・クロカン」が 9.3%となりました。

男女別にみると、男性では「ミニバン」(17.9%)、女性では「軽自動車」(33.2%)が最も高くなっています。

年代別にみると、30 代では「ミニバン」(19.3%)、50 代では「コンパクトカー」(20.8%)が、それぞれ他の年代と比べて高くなりました。(図 13)

2015 年～2017 年の調査結果と比較すると、「軽自動車」は、最も高くなった一昨年(2016 年 32.4%)から下降傾向にあるものの、4 年連続で 1 位となりました。(図 14)

また、次に車を買替える時に購入したい車の燃料(エンジン)タイプを聞いたところ「ガソリン自動車」が 36.6%、「ハイブリッド自動車(HV)」が 28.4%となりました。(図 15)

【自動車事故】

◆車社会で恐怖を感じること 1 位は「飲酒運転による事故」

◆「あおり運転による事故」は去年 11 位から 3 位に急上昇

全回答者 1,000 名に、車社会で過ごすなかで、最近恐怖を感じること(※体験したことに限らず、ニュースなどで知ったことを含む)は何か聞いたところ、1 位は「飲酒運転による事故」(71.1%)、2 位は「ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故」(60.1%)、3 位は「あおり運転による事故」(56.8%)、4 位は「逆走車との事故」と「高齢者・高齢運転者との事故」(同率で 54.0%)となりました。

同様の質問を行った昨年の調査結果と比較すると、「飲酒運転による事故」(昨年 3 位→今年 1 位)や「あおり運転による事故」(昨年 11 位→今年 3 位)、「逆走車との事故」(昨年 6 位→今年 4 位)は、順位が上昇しました。これらが原因となった事故の報道などを目にしたことで、恐怖感を強めた方が多いと思われます。(図 16)

【先進安全装置とコネクテッドカー】

◆安全運転機能の搭載率 「自動ブレーキ」20.3%、「ドライブレコーダー」31.7%

「ドライブレコーダー」の搭載率は昨年より 16.4 ポイント上昇

◆新たなサービスが期待されるコネクテッドカー できたら便利だと思うこと

TOP3「簡単ナビ設定」「盗難車両追跡」「車両診断」

現在、事故防止や安全運転をサポートしてくれる、さまざまな機能や装置が開発されていますが、全回答者 1,000 名に、自分が主に運転している車に安全運転を支援する機能や装置を付けているか、付けていない場合は付けたいか聞きました。

搭載率(「すでに付いている」と回答した割合)をみると、「自動ブレーキ(衝突被害軽減ブレーキ)」は 20.3%、「ドライブレコーダー(車両の走行状態や事故状況を録画する装置)」は 31.7%、「車線逸脱防止支援システム(車両のふらつきや車線からはみだしをお知らせする機能)」は 17.5%、「定速走行・車間距離制御装置/ACC(アダプティブクルーズコントロール)」は 13.9%、「死角検知機能(自車の斜め後方など、死角に車がいいたらお知らせする機能)」は 9.5%、「歩行者用エアバッグ(歩行者と衝突時に作動する、歩行者用の衝撃緩和装置)」は 6.0%となりました。今回挙げた機能や装置のなかでは、ドライブレコーダーの搭載率が最も高くなりました。

また、搭載意向率(「付けたいと思う」と回答した割合)をみると、「自動ブレーキ」は 55.2%、「ドライブレコーダー」は 54.1%、「車線逸脱防止支援システム」は 47.2%、「定速走行・車間距離制御装置/ACC」は 50.0%、「死角検知機能」は 63.4%、「歩行者用エアバッグ」は 47.3%となりました。「死角検知機能」は搭載率では 1 割にとどまっていますが、付けたいと考えている方は多いようです。(図 17)

昨年の調査結果と比較すると、「自動ブレーキ」では搭載率が 7.9 ポイント上昇(2017 年 12.4%→2018 年 20.3%)、「ドライブレコーダー」では搭載率が 16.4 ポイント上昇(2017 年 15.3%→2018 年 31.7%)となりました。あおり運転に関する報道を目にするなどして、ドライブレコーダーの必要性を感じる方がこの 1 年で増えたことが推察されます。(図 18)

近年、インターネットを介して外部と接続するという ICT 端末としての機能を備えた、コネクテッドカーの開発が進められています。インターネットへの接続により、車の状態や道路状況、走行データなどを活用した新たなサービスを受けることができます。

そこで、全回答者 1,000 名に、このようなコネクテッドカーで、できたら便利だと思うことは何か聞いたところ、「簡単ナビ設定(ナビに目的地を話しかけると目的地設定できる)」が最も多く 45.2%、次いで、「盗難車両追跡(車が盗難にあったとき、その車の位置を追跡できる)」が 43.1%、「車両診断(車両の状態を診断してくれトラブル発生前に整備をおすすめしてくれる)」が 34.0%、「遠隔ドアロック(リモコンキーが届かないような離れた場所からでもドアロックできる)」が 33.0%、「自動緊急通報(エアバッグの作動や車両センサーで事故を検知すると警察や消防に通報してくれる)」が 28.8%となりました。ナビの音声設定や、盗難防止の機能に期待している方が多いことがうかがえます。

年代別にみると、10 代・20 代では「音楽自動選択(好みの音楽を学習し、運転時にかけてくれる)」(25.2%)が他の年代と比べて高くなりました。ドライブ中、好きな音楽が自動で流れてきたら便利だと考えるのは 10 代・20 代に多いようです。(図 19)

【自動車に関する知識】

◆ナンバープレートに使われないひらがな[お・し・へ・ん] 「知らなかった」7 割

◆給油口は左右どちら？答えは燃料メーターの給油機マーク横の三角に

半数が「知らなかった」

◆逆走を防ぐ豆知識 高速道路での特別転回 認知率は 3 割以下に

全回答者 1,000 名に、自動車に関するさまざまな知識について、それぞれ知っているかどうか聞きました。

まず、【車のナンバープレートのひらがなには[お・し・へ・ん]が使われていないこと】については、「知っていた」が 29.6%、「知らなかった」が 70.4%となり、知らなかった方が多数派となりました。

ナンバープレートのひらがなは登録種別を示し、自家用か業務用か、また一般用かレンタカー用か、などによって、使用できる文字が決められていますが、「お」「し」「へ」「ん」の4文字は使用されていません。それぞれ理由をみると、「お」は形が似ている「あ」「す」「む」との見間違いを避けるため、「し」は「死」を連想させるため、「へ」は「屁」を連想させるため、「ん」は発音しづらいためとなっています。こうした文字が使われていないことは、普段あまり意識していない方が多いのかもしれない。

次に、【軽自動車(自家用)のナンバープレートを白色にすることができること】については、「知っていた」が44.7%「知らなかった」が55.3%となりました。主に運転している車のボディタイプ別にみると、「知っていた」の割合は、主に運転している車が軽自動車の方は49.3%と、軽自動車でない方(42.2%)と比べて7.1ポイント高くなりました。

軽自動車には、自家用の場合、黄色地に黒文字のナンバープレートが使用されますが、ラグビーワールドカップの記念ナンバープレートや、2020年東京オリンピック・パラリンピックの記念ナンバープレートの申込みをすると、軽自動車でも白地に緑文字のナンバープレートを付けることができます。

また、【燃料メーターの給油機マーク横の三角は給油口の位置を示していること】については、「知っていた」が49.2%、「知らなかった」が50.8%で、両者が拮抗する結果となりました。

三角の向きで、給油口が左右どちら側にあるかがわかるようになっています。

では、高速道路や交通安全に関する知識についてはどうでしょうか。

【高速道路で目的のインターチェンジを通り過ぎたり、分岐点(JCT)を間違えたりしたときに、間違えて通行した分の追加料金なしで、目的のインターチェンジまで引き返せること】については、「知っていた」が26.3%、「知らなかった」が73.7%と、知らなかったという方のほうが多い結果となりました。

この措置は特別転回(※5)と呼ばれます。出口や分岐点を間違えた際に、無理にUターンして逆走してしまうことによる事故が多発していますが、この制度を知っていればあわてずに対応することができるため、ぜひ知っておきたいものです。

(※5)：目的のインターチェンジ(IC)を通り過ぎてしまった場合、次のインターチェンジ出口で一般レーン(有人ゲート)に入り、係員に降りるICを間違えた旨を申し出てETCカードを提示するか、通行券に「特別転回」の承認印を押してもらうと、追加料金なしで目的のICに戻ることができる。ICの構造や料金所の判断によっては認められない場合もある。

また、【高速道路で追い越し車線を走り続けるのは違反ということ】については「知っていた」が66.6%、「知らなかった」が33.4%で、知っているという方のほうが多くなりました。

追い越し車線は、あくまでも追い越すためのものであるため、追い越しをせずに元の車線に戻らないまま走り続けていると、通行帯違反として交通違反となることがあります。(図20,21)

【カーライフ意識・車好きあるある】

◆「自分は“車好き”」男性6割半、女性4割半

◆車好きほど「フロント部分を『顔』」「ハンドルを『ステアリング』」と呼ぶ

全回答者1,000名に、自身のカーライフに関する意識について、それぞれの程度同意するかを聞きました。

まず、【自分は「車好き」だと思う】については、『そう思う(計)』(「非常に」と「やや」の合計、以下同様)が54.7%となりました。車好きと自負している方が多いようです。

男女別にみると、『そう思う(計)』の割合は男性64.2%、女性45.2%で、車好きな方は男性に多いことがわかりました。

【運転は楽しい】については、『そう思う(計)』が66.4%となりました。

男女別にみると、男性では『そう思う(計)』が74.6%と、男性の大半がドライブを満喫しているようです。

また、【愛車を褒められるとうれしい】については、『そう思う(計)』は67.7%となりました。(図22)

自分を車好きだと思う方が多数派という結果でしたが、車に対する愛情はどのようなかたちで行動にあらわれるのでしょうか。

全回答者1,000名に、普段、車に関して行うことがあるものを聞いたところ、「同じ車を運転している人には親近感を覚える」が最も多く23.5%、次いで、「車のフロント部分を『顔』と呼ぶ」が16.5%、「定期的にエンジンルームをチェックする」が7.6%、「車のハンドルを『ステアリング』と呼ぶ」が7.0%、「愛車にニックネームをつけている」が6.2%となりました。

自分を車好きだと思っているかどうかでみると、「同じ車を運転している人には親近感を覚える」(車好き30.9%、車好きでない14.6%)や「車のフロント部分を『顔』と呼ぶ」(車好き23.6%、車好きでない7.9%)、「車のハンドルを『ステアリング』と呼ぶ」(車好き11.7%、車好きでない1.3%)では車好きのほうが10ポイント以上高くなりました。(図23)

【ドライブデートと好感度アップなドライバー】

◆「ドライブデートで二人の距離がグッと縮まる」10代・20代女性の8割半が同意

◆こんなドライバーに好感度アップ！ 1位は「安全運転を心がけている」
女性は「渋滞にハマってもイライラしない」ドライバーに好感度アップ

次に、ドライブデートに関する意識について、それぞれどの程度同意するかを聞きました。

全回答者1,000名に、ドライブデートが好きか聞いたところ、『そう思う(計)』が67.6%となりました。

男女・年代別にみると、『そう思う(計)』の割合が最も高かったのは10代・20代女性(81.6%)となりました。ドライブデートは、特に10代・20代女性に人気のようです。(図24)

また、ドライブデートは二人の距離をグッと縮めてくれると思うか聞いたところ、『そう思う(計)』が72.5%となりました。ドライブデートで親密度がアップすると感じている方が多いことがわかりました。

男女・年代別にみると、『そう思う(計)』が最も高くなったのは10代・20代女性(85.6%)、最も低くなったのは10代・20代男性(66.4%)という結果でした。10代・20代では、ドライブデートの効果に対する男女間の意識のギャップが大きいようです。(図25)

車を運転しているとき、同乗者に良い印象を持ってもらえるのは、どのような行動なのでしょうか。

全回答者1,000名に、好感度が高いと思うのはどのようなドライバーかを聞いたところ、「安全運転を心がけている」が最も多く74.8%、次いで、「駐車が上手」が45.1%、「他の車や歩行者にやさしい」が41.7%、「渋滞にハマってもイライラしない」が39.9%、「車体をきれいにしている」が36.1%となりました。安全運転を心がけているドライバーには好印象を持つようです。

男女別にみると、「渋滞にハマってもイライラしない」では男性28.2%、女性51.6%と、女性のほうが20ポイント以上高くなりました。たとえ渋滞にハマってしまっても、イライラすることなく普段どおり振る舞ってくれるドライバーに良い印象を持つ方は女性に多いことがわかりました。(図26)

【カーライフ×エンタメ】

◆車選びのアドバイスをしてほしいと思う芸能人 3位は「福山雅治さん」、上位2位は？

◆一日警察署長になってほしい芸能人

男性芸能人1位「竹内涼真さん」女性芸能人1位「新垣結衣さん」

◆勝負デートのドライブでBGMにかけたい曲 1位は「HANABI (Mr. Children)」

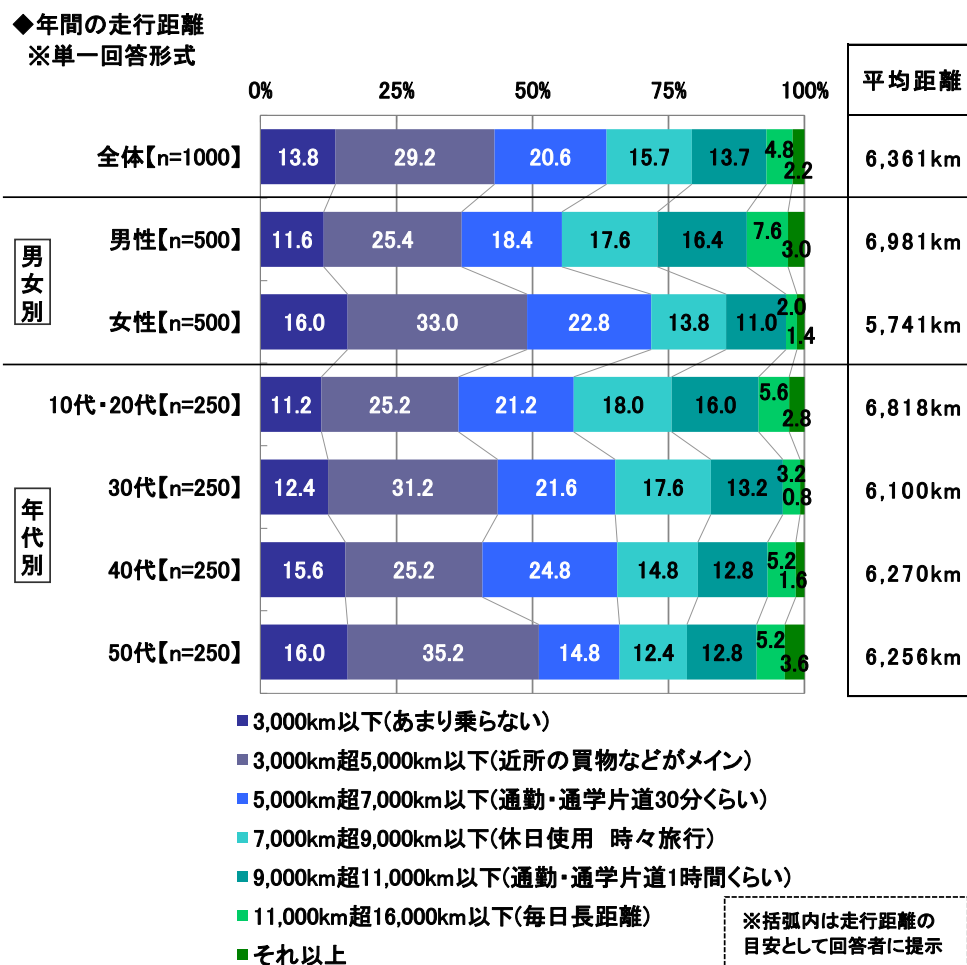
最後に、全回答者1,000名に、カーライフとエンタメに関する質問を行いました。

車選びのアドバイスをしてほしいと思う芸能人を自由回答で聞いたところ、1位は「所ジョージさん」(141件)となりました。芸能界きっての車好きとして知られる所さんからアドバイスされたら、満足のいく車選びができると思う方が多いようです。以下、2位は「明石家さんまさん」(15件)、3位は「福山雅治さん」(14件)、4位は「ヒロミさん」(13件)、5位は「マツコ・デラックスさん」(12件)となりました。(図27)

次に、交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人を自由回答で聞いたところ、男性芸能人では、1位は「竹内涼真さん」(26件)、2位は「所ジョージさん」(19件)、3位は「福山雅治さん」(17件)、4位は「阿部寛さん」「佐藤健さん」(ともに16件)となりました。他方、女性芸能人では、1位は「新垣結衣さん」(47件)、2位は「綾瀬はるかさん」(34件)、3位は「北川景子さん」(21件)、4位は「橋本環奈さん」「石原さとみさん」「有村架純さん」(いずれも19件)となりました。(図28)

また、勝負デートのドライブでBGMにかけたい曲を自由回答で聞いたところ、1位は「HANABI (Mr. Children)」(13件)、2位は「中央フリーウェイ(松任谷<荒井>由実)」「TSUNAMI(サザンオールスターズ)」(ともに11件)、4位は「Lemon(米津玄師)」(10件)、5位は「恋(星野源)」「U. S. A. (DA PUMP)」(ともに7件)となりました。(図29)

(図 1)

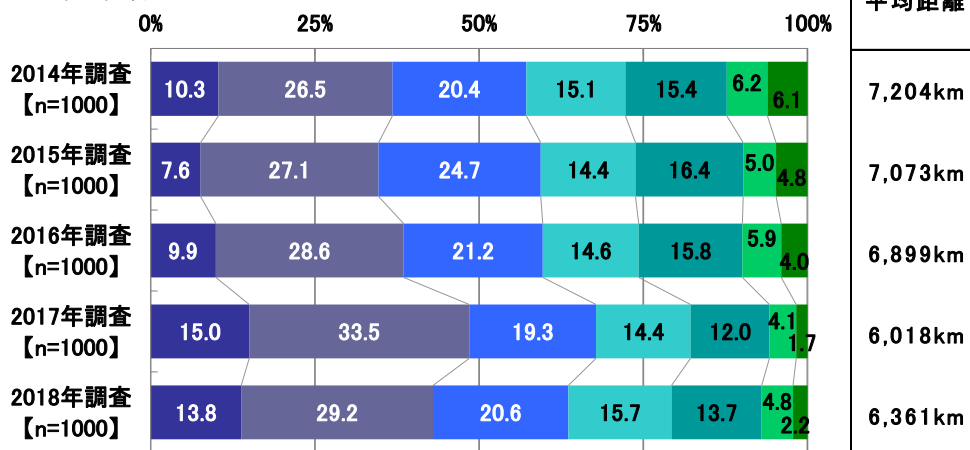


(図 2)

◆年間の走行距離

【2014年～2018年：経年比較】

※単一回答形式

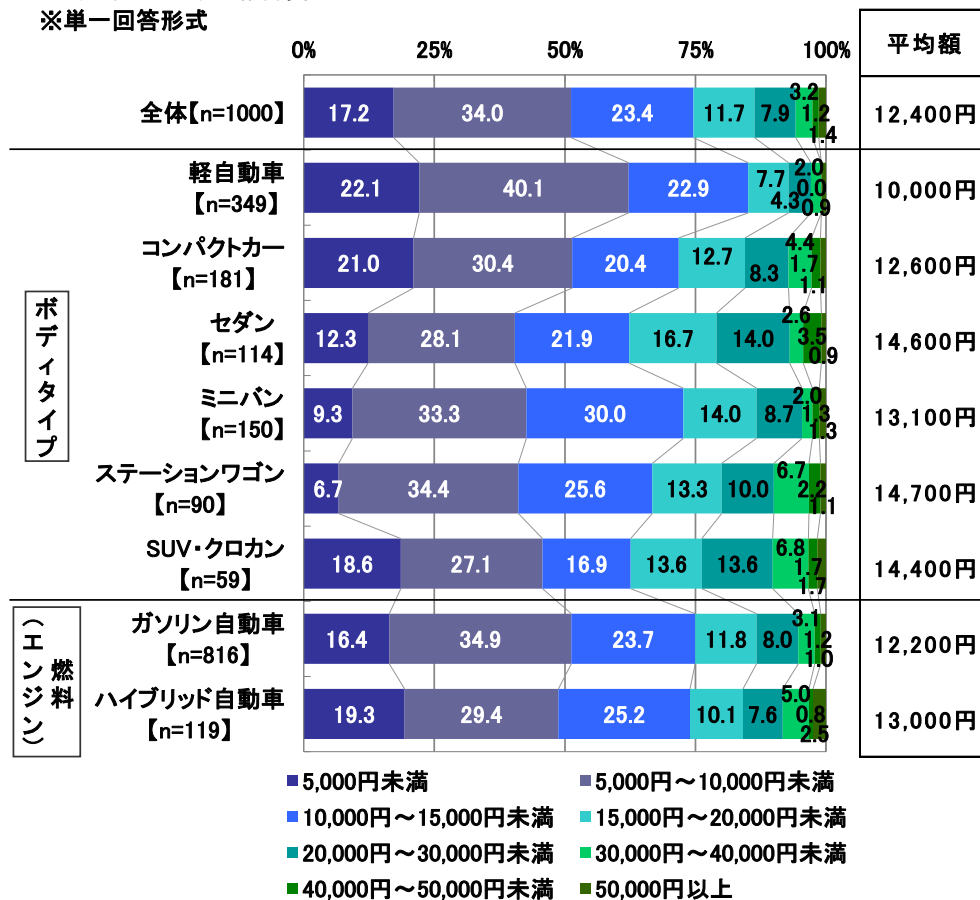


- 3,000km以下(あまり乗らない)
- 3,000km超5,000km以下(近所の買物などがメイン)
- 5,000km超7,000km以下(通勤・通学片道30分くらい)
- 7,000km超9,000km以下(休日使用 時々旅行)
- 9,000km超11,000km以下(通勤・通学片道1時間くらい)
- 11,000km超16,000km以下(毎日長距離)
- それ以上

※括弧内は走行距離の目安として回答者に提示

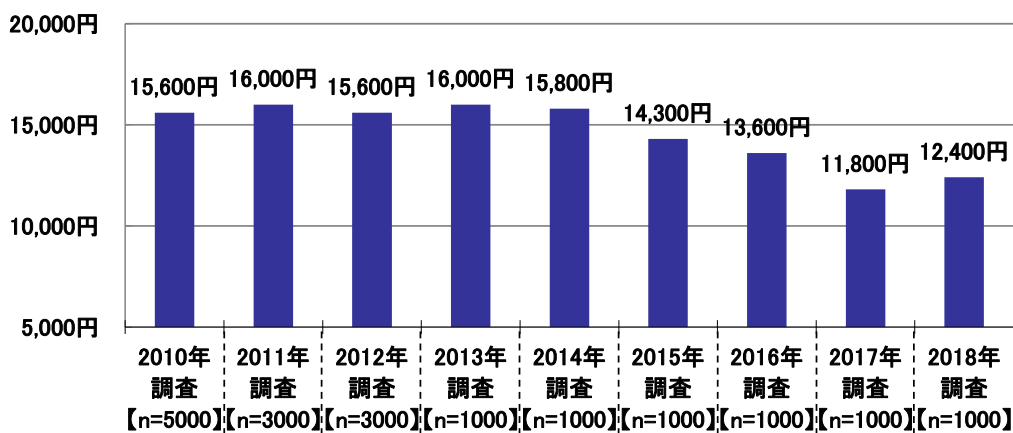
(図 3)

◆1か月あたりの車の維持費
※単一回答形式



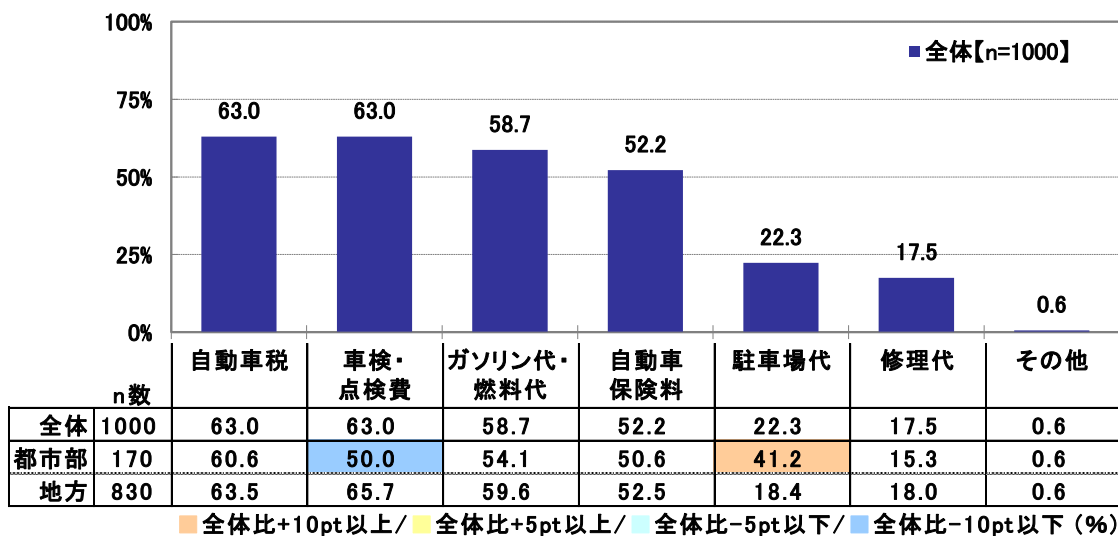
(図 4)

◆1か月あたりの車の維持費の平均額
【2010年～2018年:経年比較】
※単一回答結果より抜粋



(図 5)

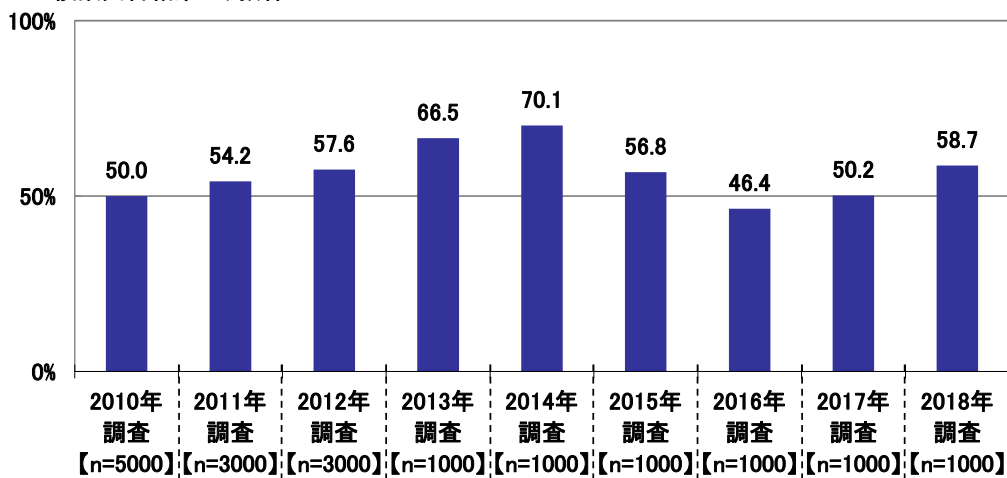
◆車の諸経費で負担に感じるもの
※複数回答形式



■全体比+10pt以上 / ■全体比+5pt以上 / ■全体比-5pt以下 / ■全体比-10pt以下 (%)

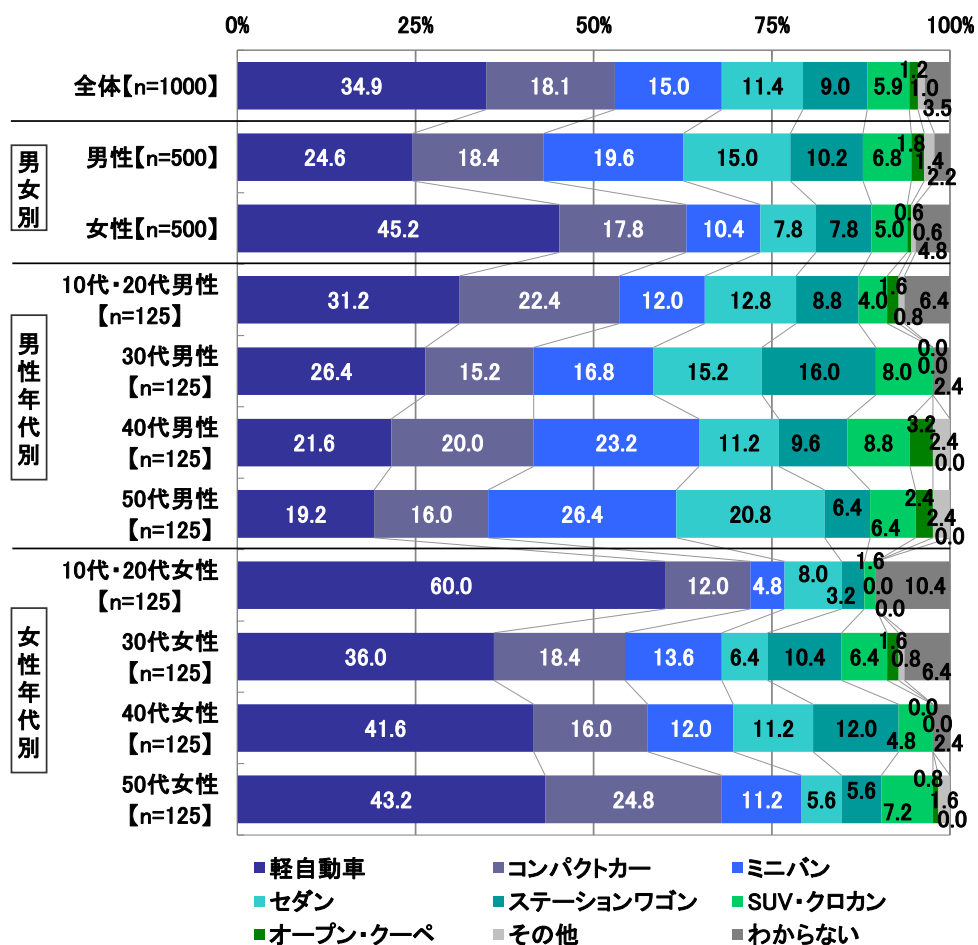
(図 6)

◆「ガソリン代・燃料代」を負担に感じる割合
【2010年～2018年：経年比較】
※複数回答結果より抜粋



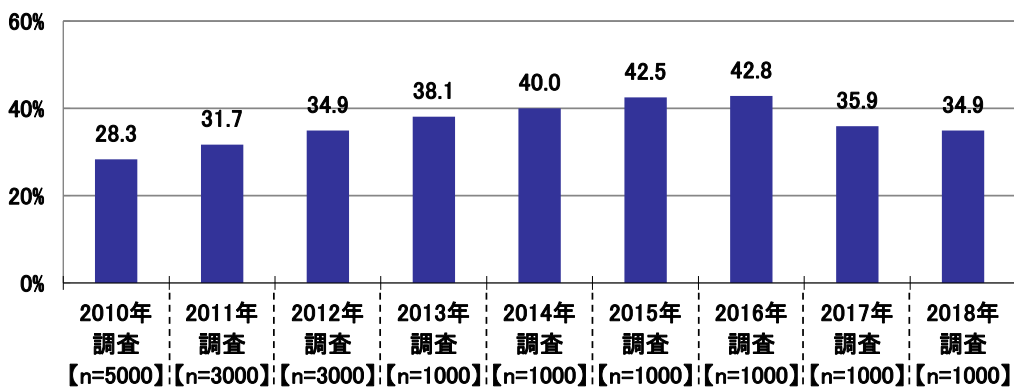
(図 7)

◆主に運転している車のボディタイプ
※単一回答形式



(図 8)

◆主に運転している車が「軽自動車」である割合
【2010年～2018年：経年比較】
※単一回答結果より抜粋



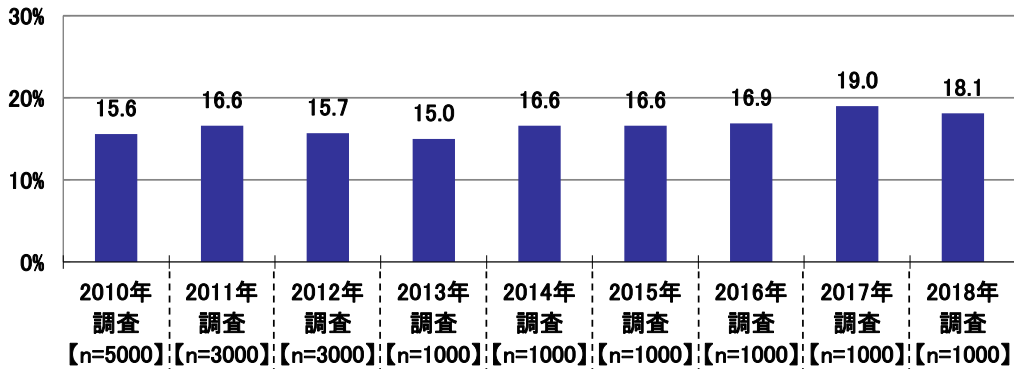
※2015年調査から当該設問に「わからない」の選択肢を追加している

(図 9)

◆主に運転している車が「コンパクトカー」である割合

【2010年～2018年：経年比較】

※単一回答結果より抜粋

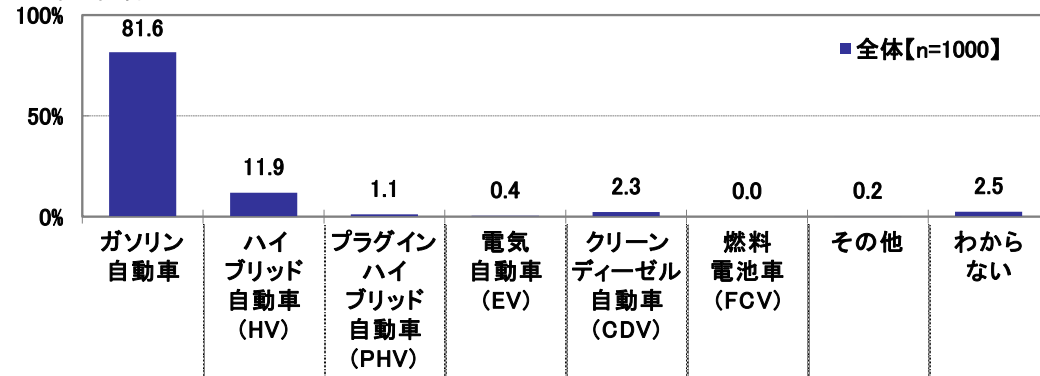


※2015年調査から当該設問に「わからない」の選択肢を追加している

(図 10)

◆主に運転している車の燃料(エンジン)タイプ

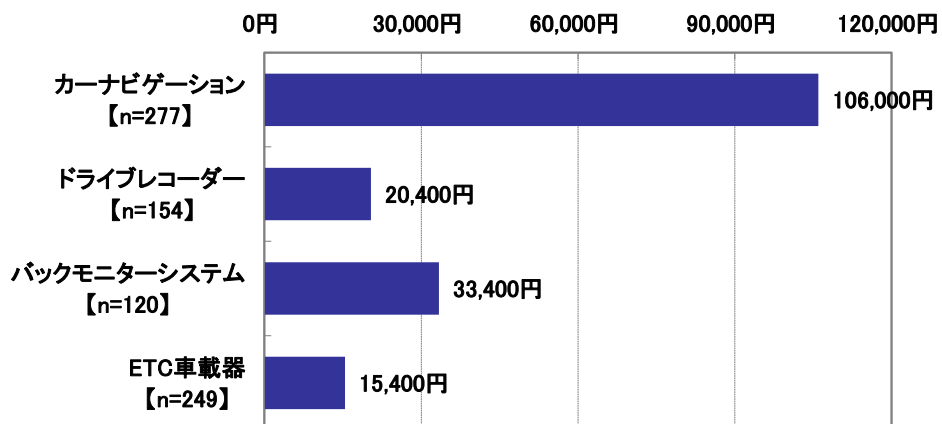
※単一回答形式



(図 11)

◆自分の車に付けているオプション装備にかけた費用の平均額 ※各数値入力形式

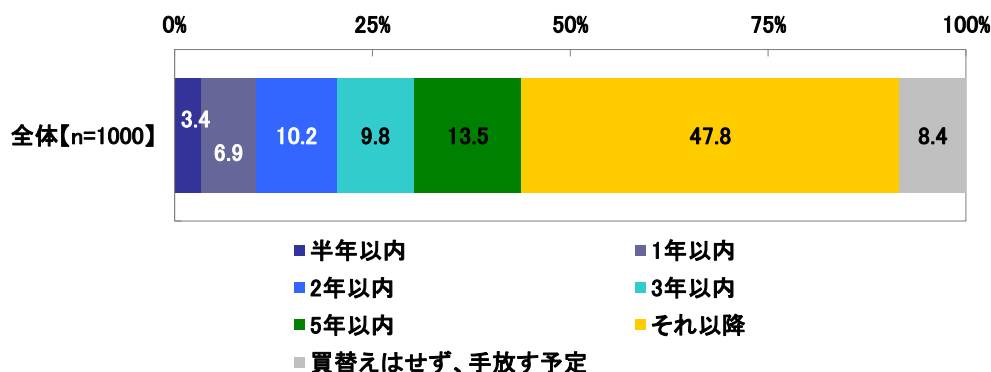
対象:それぞれオプション装備を付けていて、金額を把握している人



※平均額を表示

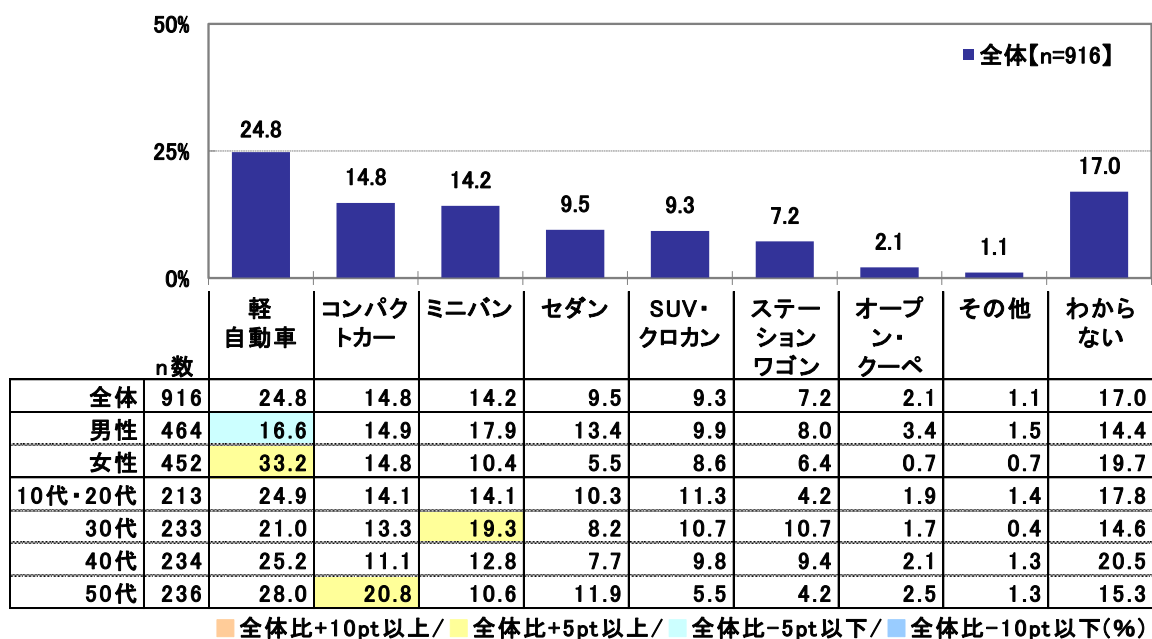
(図 12)

◆買替え予定の時期
※単一回答形式



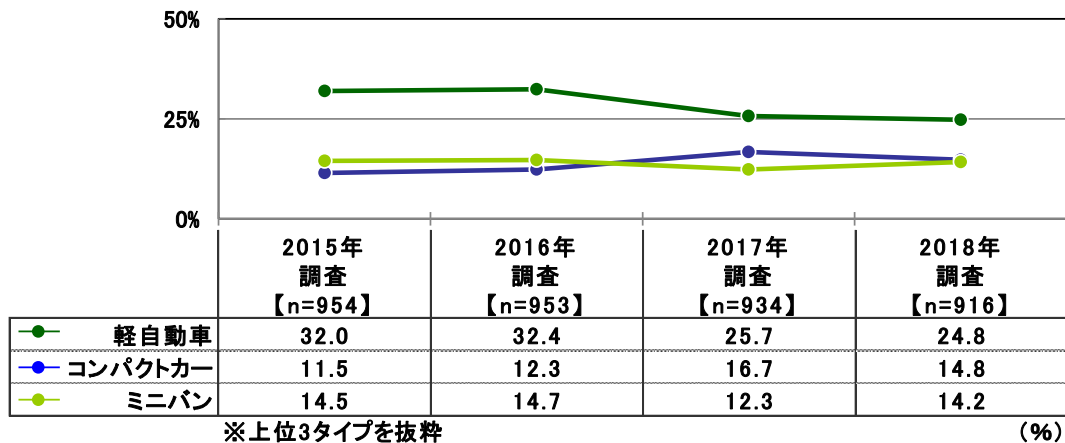
(図 13)

◆次に車を買替える時に購入したい車のボディタイプ
※単一回答形式
対象: 車を買替える予定がある人



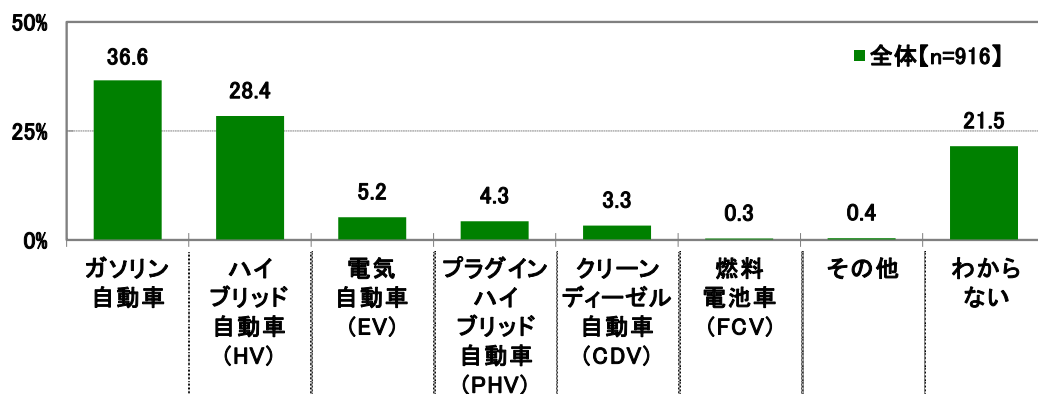
(図 14)

◆次に車を買替える時に購入したい車のボディタイプ
 【2015年～2018年：経年比較】
 ※単一回答結果より抜粋 対象：車を買替える予定がある人



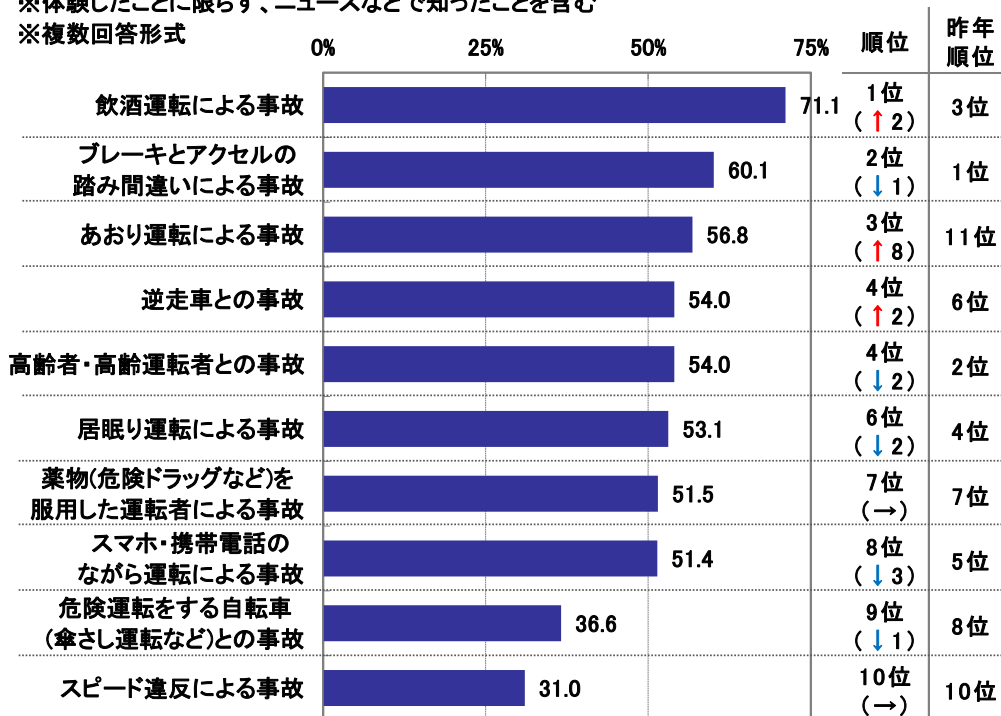
(図 15)

◆次に車を買替える時に購入したい車の燃料(エンジン)タイプ
 ※単一回答形式
 対象：車を買替える予定がある人



(図 16)

◆車社会で過ごすなかで、最近恐怖を感じること
 ※体験したことに限らず、ニュースなどで知ったことを含む
 ※複数回答形式



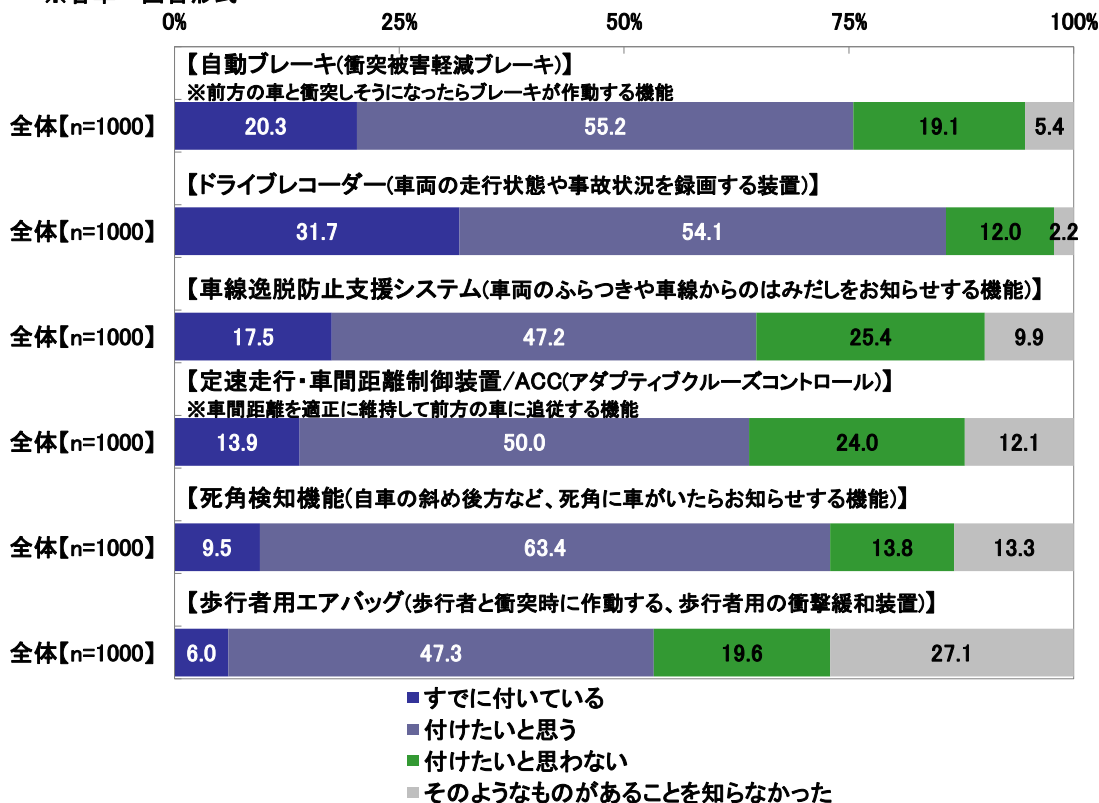
■全体【n=1000】

※上位10位まで抜粋

(図 17)

◆安全運転を支援する機能や装置を主に運転している車に付けているか、
付けていない場合は付けたいか

※各単一回答形式

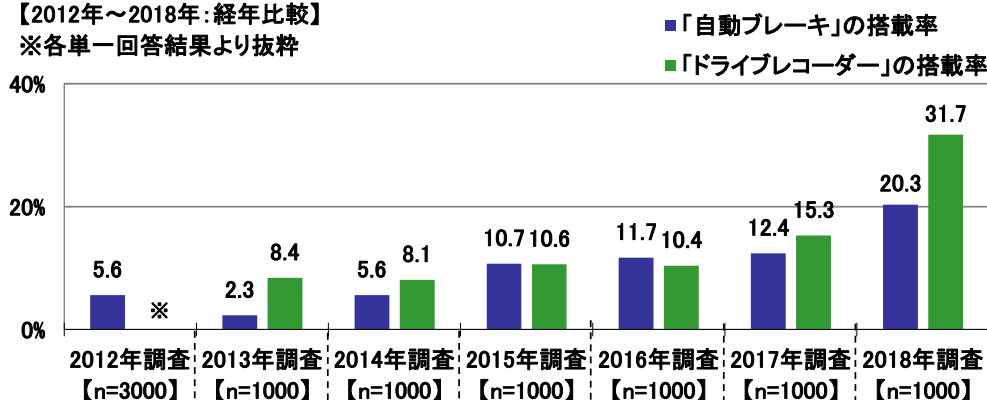


(図 18)

◆「自動ブレーキ」の搭載率/「ドライブレコーダー」の搭載率

【2012年～2018年:経年比較】

※各単一回答結果より抜粋



※「ドライブレコーダー」は2012年調査では非聴取。

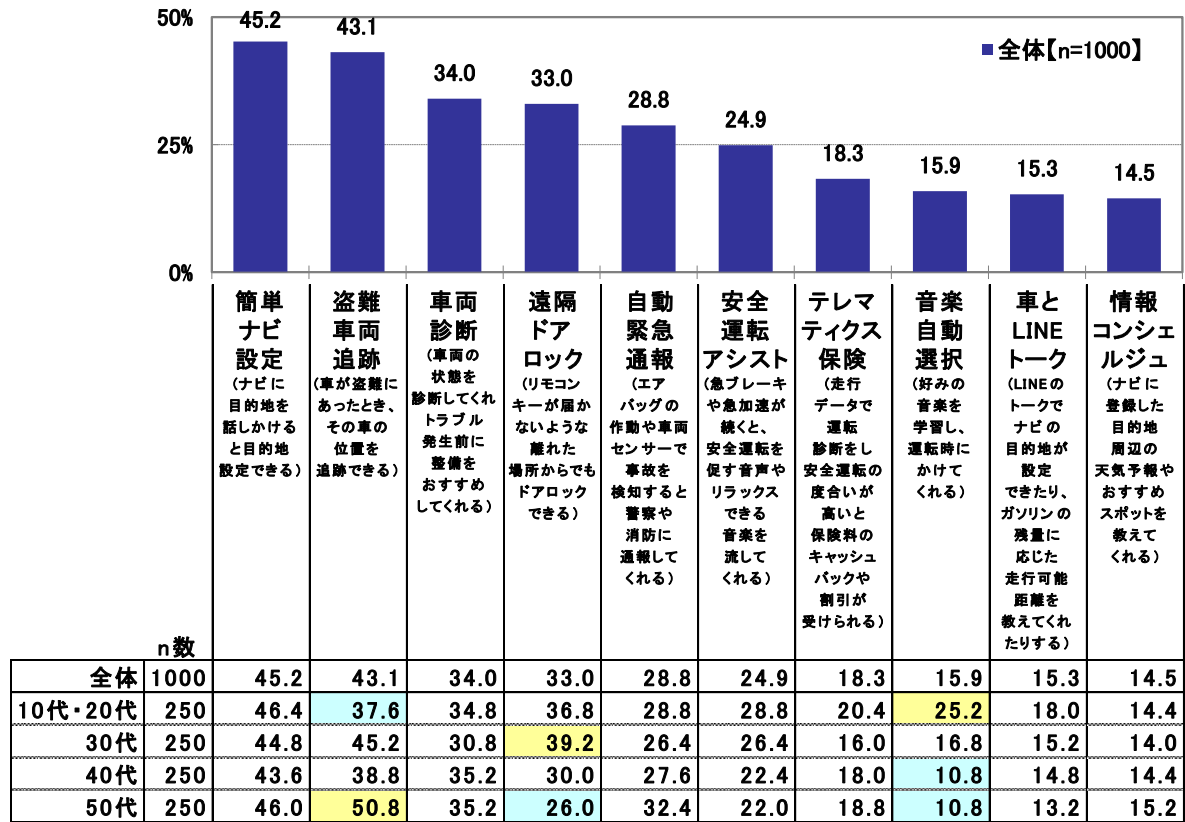
※「自動ブレーキ(衝突被害軽減ブレーキ)」は2016年調査までは「衝突防止装置」の名称で聴取している。

※2015年調査までは搭載状況と予定(「搭載している」「搭載予定」「搭載するつもりはない」「以前搭載していたが今は搭載していない」)から選択する形式で聴取、2016年以降は搭載状況と搭載意向、認知状況(「すでに付いている」「付けたいと思う」「付けたいと思わない」「そのようなものがあることを知らなかった」)から選択する形式で聴取している。

(図 19)

◆コネクテッドカーでできたら便利だと思うもの
※複数回答形式

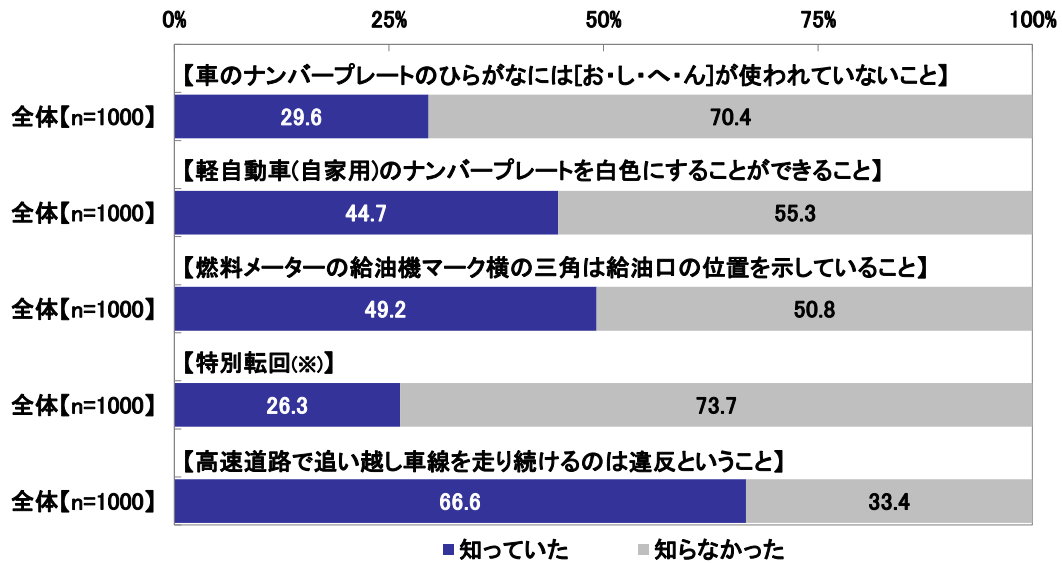
※上位10位まで抜粋



■全体比+10pt以上 / ■全体比+5pt以上 / ■全体比-5pt以下 / ■全体比-10pt以下 (%)

(図 20)

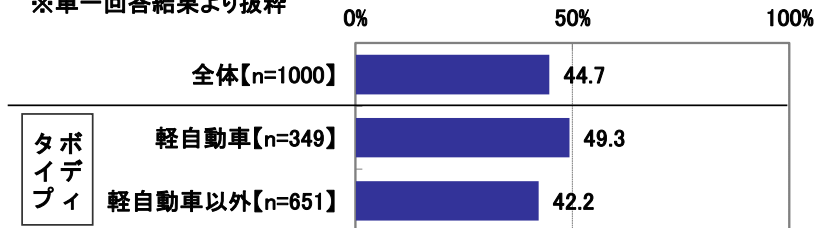
◆自動車に関する知識 ※各単一回答形式



■ 知っていた ■ 知らなかった
 ※「高速道路で目的のインターチェンジを通り過ぎたり、分岐点(JCT)を間違えたりしたときに、間違えて通行した分の追加料金なしで、目的のインターチェンジまで引き返せること」と提示して聴取

(図 21)

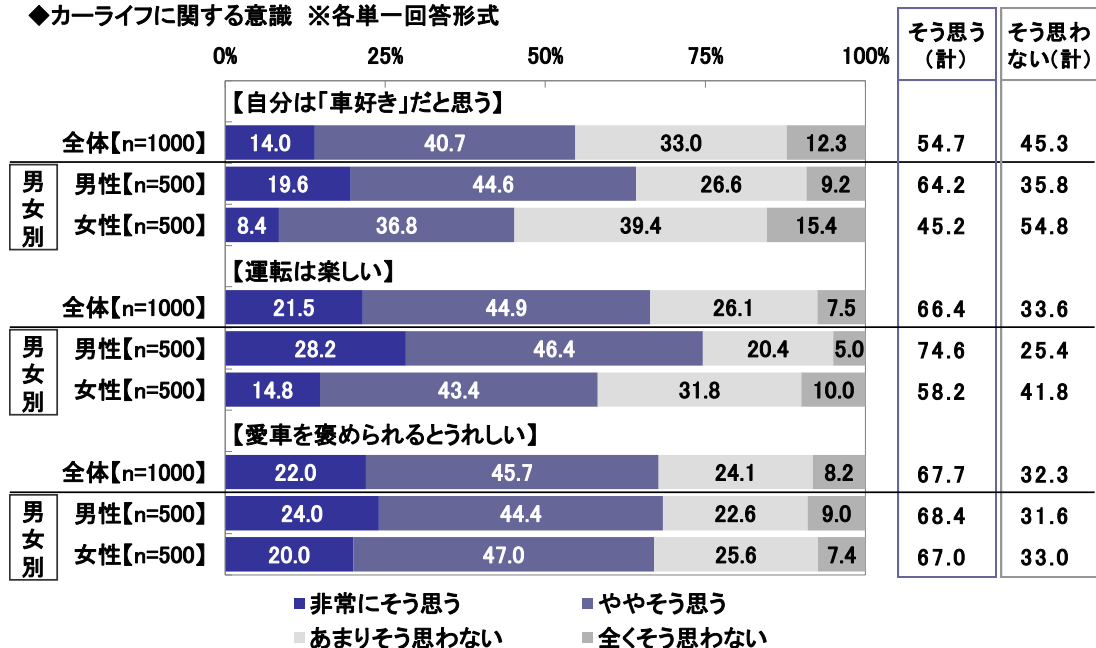
◆軽自動車のナンバープレートを白色にすることができることを知っていた割合 ※単一回答結果より抜粋



※「知っていた」を表示

(図 22)

◆カーライフに関する意識 ※各単一回答形式

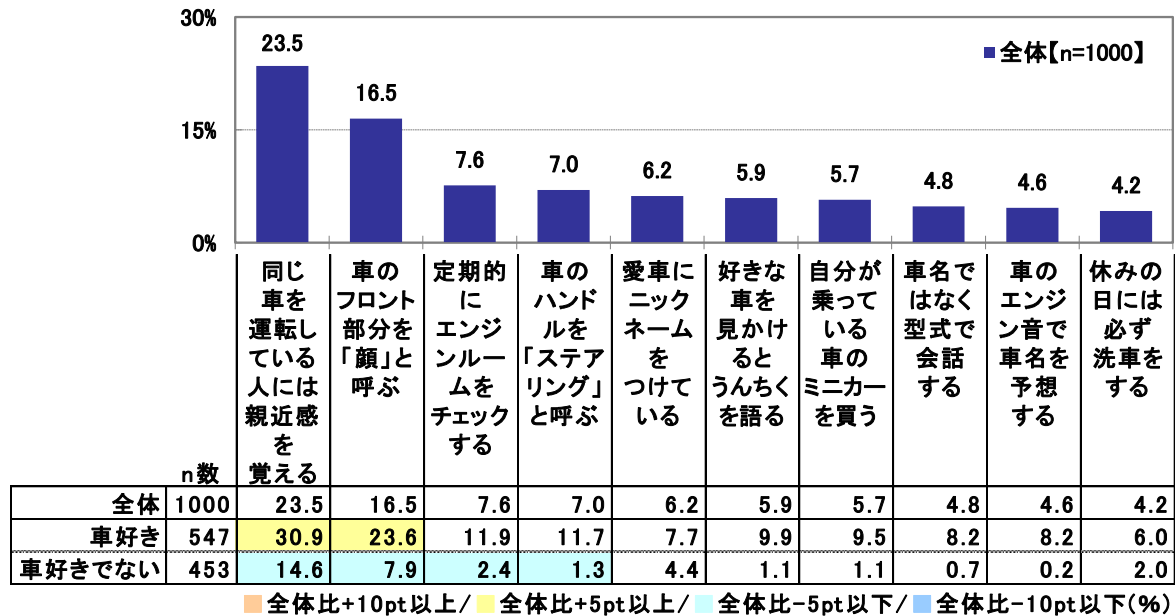


■ 非常にそう思う ■ ややそう思う
 ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

(図 23)

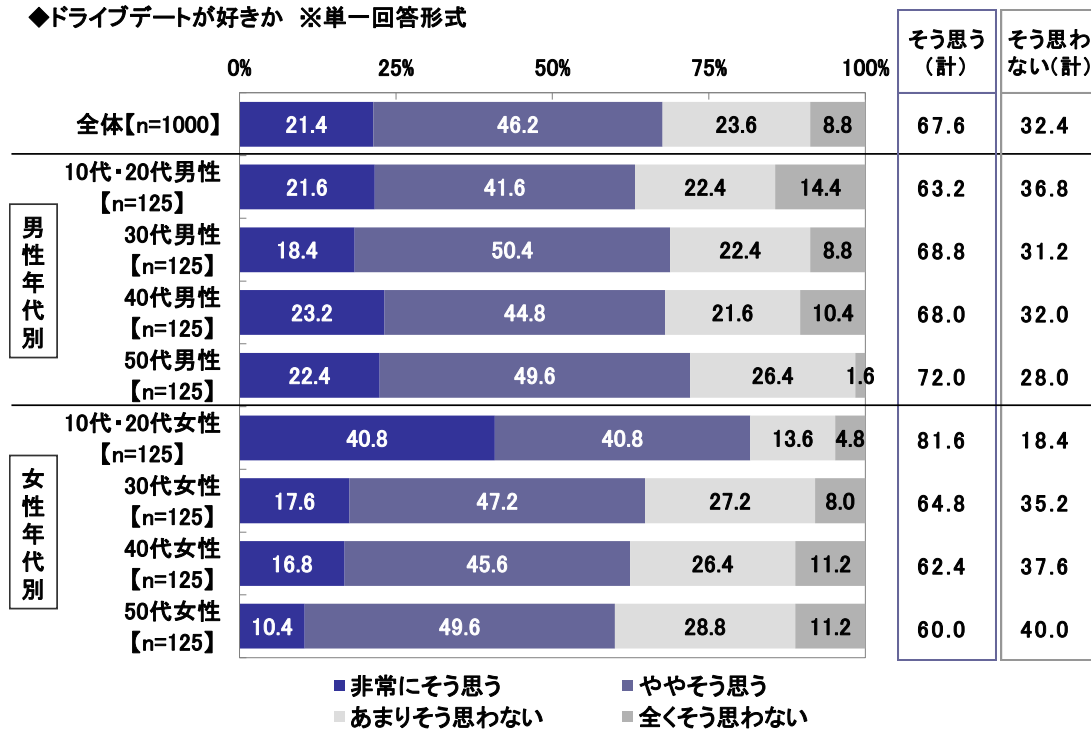
◆普段、車に関して行うことがあるもの
※複数回答形式

※上位10位まで抜粋

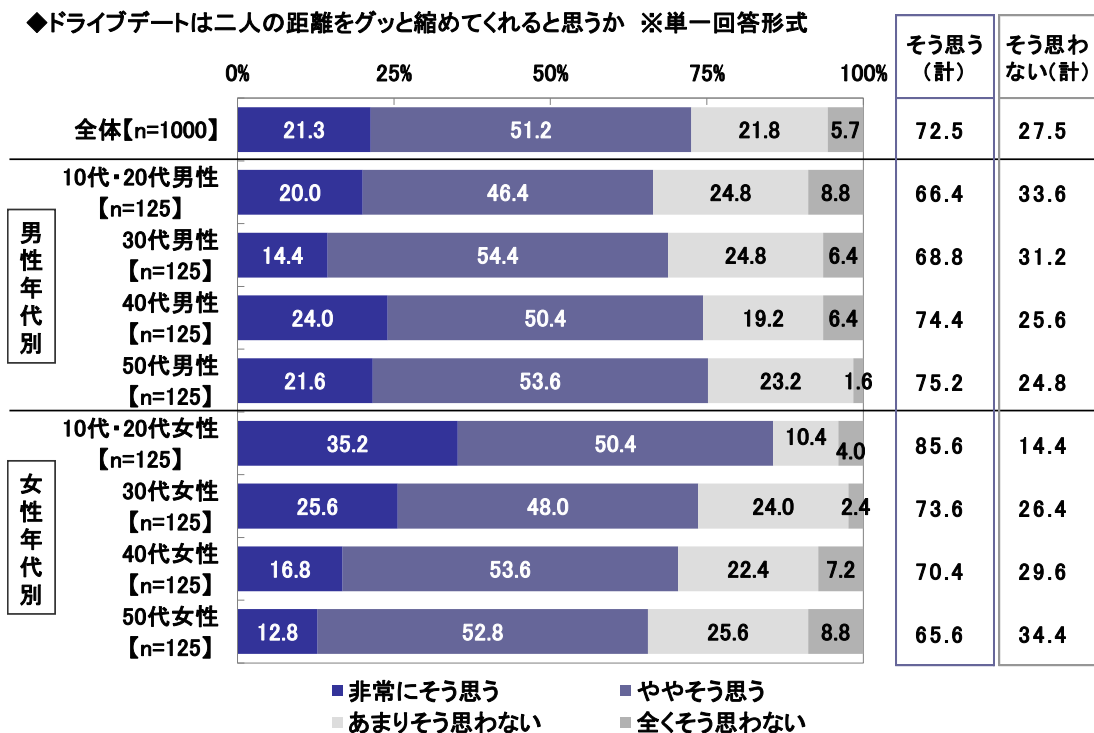


(図 24)

◆ドライブデートが好きか ※単一回答形式



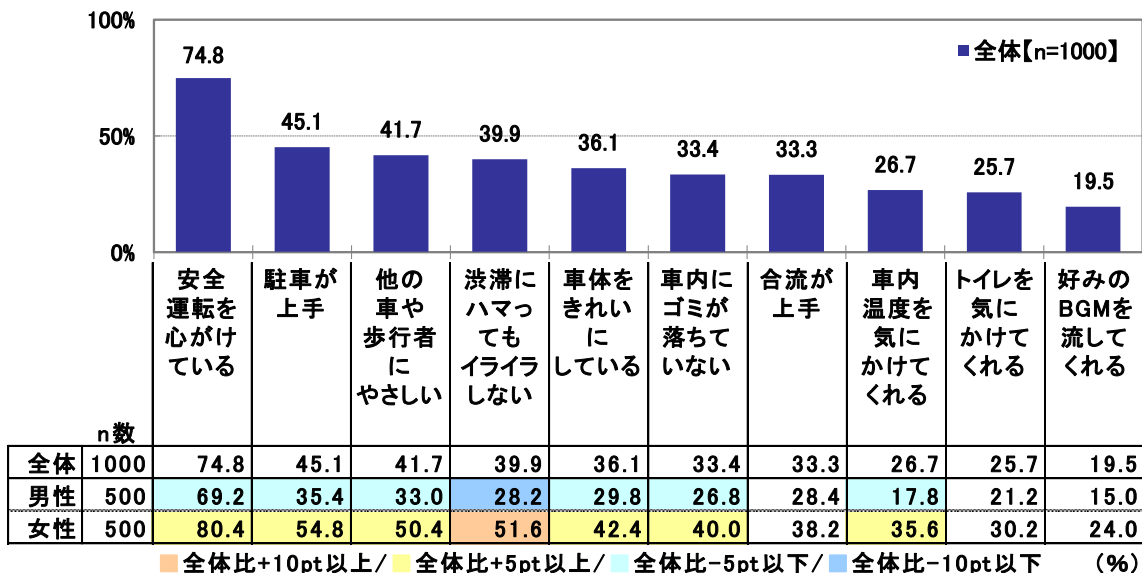
(図 25)



(図 26)

◆好感度が高いと思うドライバー
※複数回答形式

※上位10位まで抜粋



(図 27)

◆車選びのアドバイスをしてほしいと思う芸能人 ※自由回答

全体【n=1000】		件数
1位	所ジョージ	141
2位	明石家さんま	15
3位	福山雅治	14
4位	ヒロミ	13
5位	マツコ・デラックス	12
6位	タモリ	11
	木村拓哉	11
8位	おぎやはぎ	10
9位	近藤真彦	9
10位	阿部寛	8
	新垣結衣	8

※上位10位まで抜粋

(図 28)

◆交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人 ※各自自由回答

全体【n=1000】

男性芸能人			女性芸能人		
		件数			件数
1位	竹内涼真	26	1位	新垣結衣	47
2位	所ジョージ	19	2位	綾瀬はるか	34
3位	福山雅治	17	3位	北川景子	21
4位	阿部寛	16	4位	橋本環奈	19
	佐藤健	16		石原さとみ	19
6位	ムロツヨシ	14		有村架純	19
	高橋一生	14	7位	吉岡里帆	14
	木村拓哉	14	8位	広瀬すず	13
9位	明石家さんま	13		天海祐希	13
10位	タモリ	12		土屋太鳳	13
	小栗旬	12			

※各上位10位まで抜粋

(図 29)

◆勝負デートのドライブでBGMにかけたい曲 ※自由回答

全体【n=1000】		件数
1位	HANABI(Mr.Children)	13
2位	中央フリーウェイ(松任谷<荒井>由実)	11
	TSUNAMI(サザンオールスターズ)	11
4位	Lemon(米津玄師)	10
5位	恋(星野源)	7
	U.S.A.(DA PUMP)	7
7位	未来予想図Ⅱ(DREAMS COME TRUE)	6
	トリセツ(西野カナ)	6
	ドライブ(ケツメイシ)	6
10位	Driver's High(L'Arc~en~Ciel)	5
	いとしのエリー(サザンオールスターズ)	5
	アイデア(星野源)	5
	ultra soul(B'z)	5
	Hero(安室奈美恵)	5

※上位10位まで抜粋

◆調査概要◆

- ◆調査タイトル : 2018年 全国カーライフ実態調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
自家用車を所有し月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女
(10代・20代、30代、40代、50代、男女各125名)
- ◆調査期間 : 2018年10月19日～10月22日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル(有効回答から1,000サンプルを抽出)
- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「ソニー損保調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

ソニー損害保険株式会社 ダイレクトマーケティング部 片野坂 真也
TEL : 03-5744-8921
Eメール : katanosaka-s@sonysonpo.co.jp
受付時間 : 9時～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : ソニー損害保険株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 丹羽淳雄
設立 : 1998年6月10日
(ソニーインシュアランスプランニング株式会社として設立)
所在地 : 東京都大田区蒲田5-37-1 アロマスクエア11F
業務内容 : 損害保険業

会社および商品の詳細は <https://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。